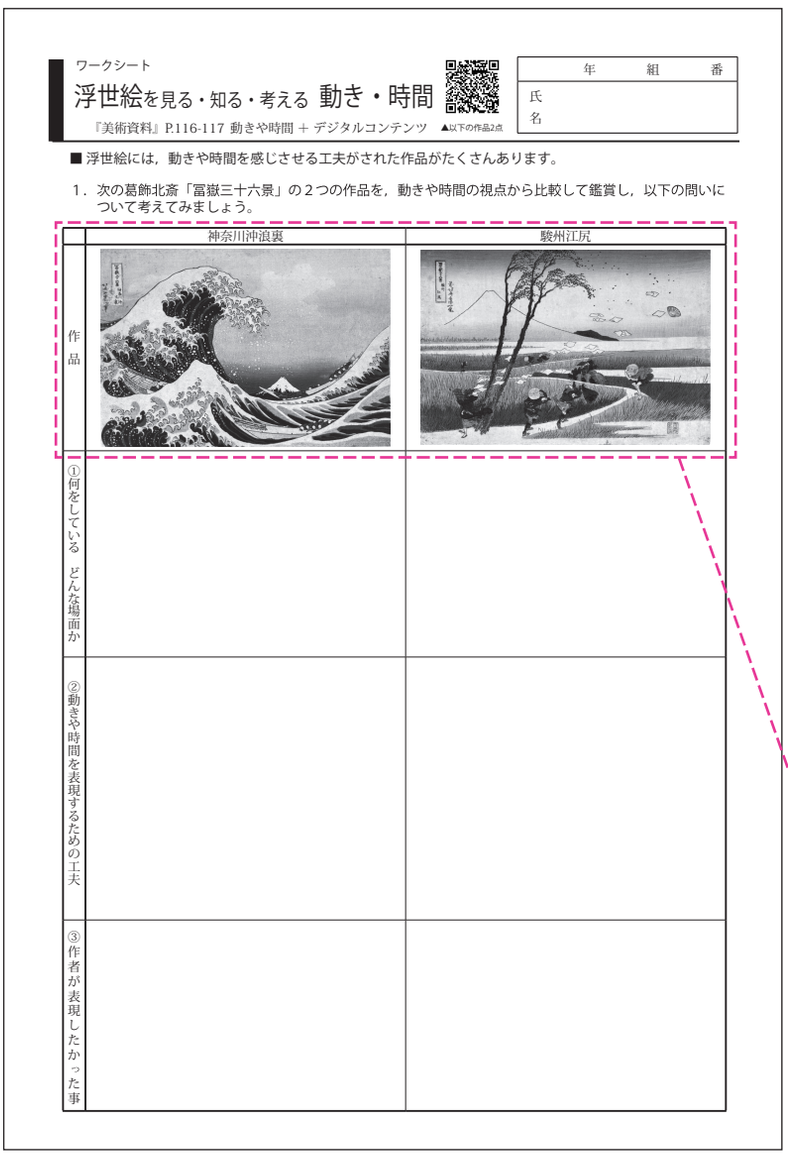
『美術資料』をつかったワークシート

教師用資料 ②

「ワークシート
浮世絵 を見る・知る・考える 動き・時間 」
つかいかた・学習のポイント



ワークシート

浮世絵を見る・知る・考える 動き・時間

『美術資料』P.116-117 動きや時間 ＋ デジタルコンテンツ ▲以下の作品2点

年	組	番
氏名		

■ 浮世絵には，動きや時間を感じさせる工夫がされた作品がたくさんあります。

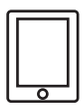
1．次の葛飾北斎「冨嶽三十六景」の２つの作品を，動きや時間の視点から比較して鑑賞し，以下の問いについて考えてみましょう。

	神奈川沖浪裏	駿州江尻
作品		
①何をしている どんな場面か		
②動きや時間を表現するための工夫		
③作者が表現したかった事		

●本学習で鑑賞する浮世絵

葛飾北斎
「冨嶽三十六景」より 神奈川沖浪裏
駿州江尻
（2点をあらかじめ提示）

★ワークシートに記載のQRコードより，「美術資料デジタルコンテンツ」に掲載の上記2点の「カラー画像」に直接アクセスすることができます。



生徒がタブレット等で
高画質で鑑賞できます

★この「教師用資料」の次ページには，上記2点を含む，「本学習に適した他の候補作品」をA4 1枚にまとめたシートを掲載しています。

すぐに印刷して使え
カードとして鑑賞できます

※ここで紹介している浮世絵はほんの一部ですので，先生のほうで，生徒の興味関心にあわせて，他の浮世絵をあらかじめご用意頂いてもよいでしょう。ただし，動き・時間の表現の工夫が見つけやすいものを選びましょう。

学習のポイント

2点の作品を比較して鑑賞することで，全体のイメージを捉えることから始めましょう。比較することで，それぞれの違いや特徴に気づくことが大切です。

●鑑賞の深め方

・「神奈川沖浪裏」と「駿州江尻」を比較鑑賞したときの全体のイメージから，「動きや時間の流れ」を切り口に，それぞれの形や色の表現効果の違いを考えさせる。

・全体から徐々に部分を見ていき，イメージのもととなっている造形の要素に着目し，作者の表現意図の推測へつなげる。

【上記2点を含む，本学習に適した他の作品　作品情報】　全て、葛飾北斎の「冨嶽三十六景」より
① 神奈川沖浪裏　② 駿州江尻　③ 江都駿河町三井見世略図　④ 東海道江尻田子の浦略図　⑤ 甲州石班澤
⑥ 尾州不二見原　⑦ 本所立川　⑧ 東海道金谷ノ不二　⑨ 諸人登山　⑩ 隅田川関屋の里

①

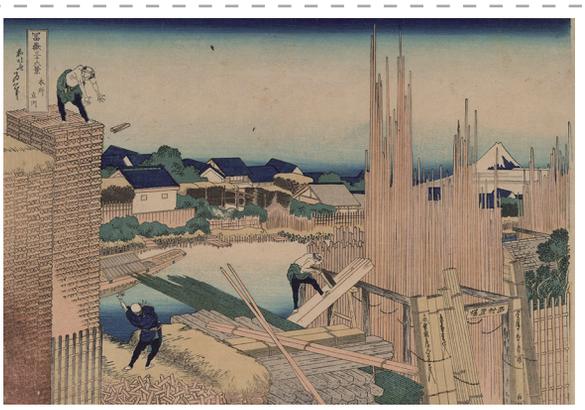
②

③

④

⑤

⑥



⑦

⑧

⑨

⑩